


 い し ぐ ろ せ ん す け
石黒 泉介
 管理部 部長

——石黒さんにとっての仕事のやりがいとはどのようなことですか。

配車担当だった頃の話ですが、自分が組んだ配車の内容によって一営業所の乗務員さんたちが動くという状況に、自分はとても大きな責任を背負っているのだと感じていました。

だからこそ、極力公正になるように配車の内容を組むのですが、なかなか上手くできなかった。そこで、彼らとお互いの考えや思いを話し合う機会をたくさん持つようにしたのです。

そのようなことを何度も繰り返すうちに、お互いの理解が深まり、関係性が良くなっていきました。今振り返ってみれば、そういった関係を築いていくという部分が仕事のやりがいに繋がり、一番の学びになっていたのだと思いますね。

——まず初めに、今までに経験された仕事内容について教えてください。

入社当初は小牧営業所に配属され、ドライバーを8年間経験しました。その後更に8年間、配車担当を経験し、現在はコンプライアンスを重視した管理体制の構築に携わる他、営業所サポートなどを行なっています。

働き方も含めて大きな転換期を迎えています。これまでのやり方だけに拘らないで、新たな在り方を探るべき時代が来ているのではないのでしょうか。

まず、スマートフォンの発達や人口減少に伴うAI化により、様々な法律が変わることで、この先会社を取り巻く環境は大きく変わります。現段階ですでに数年先まで、多数の新法施行や法改正が見込まれている状況です。この変化に対してコンプライアンスを率先して推進し、企業価値がより高まるよう都度最適な措置をしていくことが重要です。

また内面では、労働条件や労働環境など働き方改革に取り組み、働きやすい職場を認証する制度の上位基準の認証取得に向けて活動を行なっています。この取り組みを通して職場環境の良さを見える化すると共に、社員の皆さんや今後入社される方たちにとって、職

——ドライバーから配車担当へと変わられたきっかけは何ですか。

当時の係長から「配車は君に向いている職種だと思うから、一度やってみてほしい」と強く推薦されたのがきっかけです。とても信頼している人だったので、やってみようという気持ちになりました。ところが、実際にやってみると目の前にある仕事をこなすだけで精一杯。係長にもよく叱られました。ただ、私にはその厳しさが合っていたようで、自分自身を納得させる仕事もできましたし、指導して下さった係長には本当に感謝しています。

——挫折や失敗経験などがあれば教えてください。

10年以上前の話になりますが、構内作業を担当していた人が、作

——最後に、今後の展望について教えてください。

自分たちの業界に限らず、今は

業中のちよつとしたことでルールを守らなかつたために大けがをしてしまいました。安全性よりも効率を重視した結果でした。この出来事があったから、周囲からどんなに口うるさい人だと思われても、そのルールについてもっとみんなに伝え続けるべきだったと大きな後悔をしました。失敗という言葉で表せないほどの事故になつてしまいましたから。

それからは、誰もが持つている「ちよつとくらいい」という意識を根絶し、社員の皆さんがこのような事態にならないようにしたいと考えています。すでにこの気持ちは伝わっているだろうと思うので、あとは皆さんの行動力に期待を寄せています。

